



新本両国司神社の赤米の神饌

指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	しんぼんりょうくにしじんじゃのあかごめのしんせん
所在地	総社市新本
指定年月日	昭和60年4月2日
解説	本庄国司神社の正月祭・両国司神社の霜月祭に、神田や当番の所有田で栽培された赤米を用いて作られる伝統的な神饌が奉納される。国司神社にとって神聖な米である赤米の栽培は農耕神への崇敬であるといわれている。
アクセス方法	【本庄国司神社】中鉄バス新本行「薙田」下車徒歩10分 【新庄国司神社】中鉄バス新本行「新本」下車徒歩10分
公開状況	【本庄国司神社】正月祭(旧暦1月6日)、霜月祭(旧暦11月15日) / 【新庄国司神社】霜月祭:11月15日(14時から)
設備	【P】本庄国司神社には専用の駐車場はありません。新庄国司神社は境内まで駐車場から徒歩約10分。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	

きつずページ

していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	新本両国司神社の赤米の神饌
よみかた	しんぼんりょうくにしじんじゃのあかごめのしんせん
しょざいち (所在地)	総社市新本
していつひ (指定した日)	昭和60年4月2日
せつめい	赤米(あかごめ)とは白米よりも前に古くから日本で栽培(さいばい)されていた古代米です。今では日本でも島以外ではこの場所(ばしょ)以外では栽培されていません。国司神社(くにしじんじゃ)にとって赤米は神聖(しんせい)なものとされており、正月と秋のお祭りのときに神さまへ捧(ささ)げられます。